

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和4年9月14日

ふりがな	さろまちくかつせいかけいかく
活性化計画名	佐呂間地区活性化計画
ふりがな	さろまちょう
計画主体名	佐呂間町
計画期間	平成22年度～平成25年度
事業実施期間	平成23年度
活性化計画区域	北海道佐呂間地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
地域産物の販売量の増加	2.94%	6.40%	217.7	

(コメント)

給餌作業等の労働力軽減を図り、経産牛の増頭や飼養管理や生乳生産に特化した経営スタイルが確立された。1頭当たりの乳量が増加し、販売量増加につながった。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	(1) 乾燥調製貯蔵施設 (2) 高生産性農業用機械施設	
事業内容及び事業量	(1) 土地造成、調査設計費、試料調整棟 1 棟、資料貯蔵施設 31 基、サイレージ取出機 2 台、フォークリフト 1 台、圧縮梱包設備 2 台、飼料タンク 17 基、飼料混合機 2 台、各付属装置 (2) 自走モアコン 1 台、堆肥散布機 1 台、尿散布機 1 台	
事業実施主体	(1) 佐呂間町農業協同組合 (2) 佐呂間町農業協同組合	
管理主体	(1) 佐呂間町農業協同組合 (2) 佐呂間町農業協同組合	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
(1) 平成 23 年 (2) 平成 23 年	(1) 平成 23 年 (2) 平成 23 年	(1) 平成 24 年 8 月 1 日 (2) 平成 24 年 6 月 14 日
事業の効果	(1) 貯蔵施設、サイレージ取出機使用により、ロスが少ない粗飼料保管・確保が可能になり、また、高性能な飼料混合機使用により、安定した品質の TMR 製造が可能となった。圧縮梱包設備により、酪農家庭先での腐敗・劣化を防ぐことが出来た。 飼料に係わるコスト削減を可能となり、農業所得の増加につながりました。 (2) 適期作業・収穫が可能となり、高品質な粗飼料確保が可能となった。	

(3) 総合評価及び今後の方針

<p>(コメント)</p> <p>高齢が要因の離農もありましたが、構成員による新規加入者の推進、また、事業の目的が町内酪農家への理解に繋がり、第 2 センター建設の要望も強くなっています。</p> <p>労働力軽減は、経産牛の増頭や飼養管理・生乳生産に特化した経営スタイルが確立され、1 頭当たりの乳量増加、地域の生乳生産維持・拡大に寄与しています。</p>

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 農業委員会	(氏名) 会長 大澤 好幸
(コメント) 畜産クラスター事業で経営規模の拡大や新規参入など、離農による出荷戸数の減少を補い、さらには畜産 ICT 事業や楽酪 G0 事業の活用で、飼養管理に係る機械設備を導入し、労働時間の改善が図られ、1 頭当たりの乳量増加により目標達成につながった。		

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標		
	目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$

(2) 今後の方針

(コメント)

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属)	(氏名)
(コメント)		

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第16の1の(3)のア及びイに基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む））を幅広く記入すること。